植物微生物研究会第22回研究交流会プログラム

9月25日(火) 正午より受付開始

午後1時00分から午後2時30分 口頭発表 (6題)

- 1 共生窒素固定細菌フランキアのゲノム構造の多様性 ○九町健一¹, 笹川英夫², 山中高史³, 阿部美紀子¹, 内海俊樹¹ ¹鹿児島大・理, ²岡山大・農, ³森林総合研究所
- 2 ミヤコグサ根粒菌共生アイランドの伝搬と進化: 宿主モデル系統 MG20 自生地採集株群に焦点をあてて
- 〇佐伯和彦<sup>1</sup>, 谷佳美<sup>1</sup>, 池田翠<sup>1</sup>, 金子貴一<sup>2</sup>, 眞板寛子<sup>3</sup>, 平川英樹<sup>3</sup>, 田畑哲之<sup>3</sup>, 佐藤修正<sup>3</sup> <sup>1</sup> 奈良女子大・理, <sup>2</sup>京都産業大・工, <sup>3</sup>かずさ DNA 研
- 3 根粒菌の共生窒素固定に必須なシグマ因子 RpoH1 レギュロン中の鍵となる遺伝子の探索 ○佐々木祥平, 南澤究, 三井久幸 東北大・院生命科
- 4 ダイズ根粒菌 USDA110 株の blr7984 遺伝子の破壊は、細胞内グルタチオン濃度を上昇させ、野生株を fast grower にすると共に根粒の老化を抑制する
- ○大津直子,本間春菜,平岡恭奈,佐野義憲,中込マリコ,市田紗智子,横山正東京農工大・農
- 5 ダイズ根粒菌 Type III 分泌系による Rj2 ダイズ共生不和合性の誘導
- ○津久井隆裕¹, 江田志磨¹, 金子貴一², 佐藤修正³, 岡崎伸⁴, 柿崎(千葉)芳里¹, 板倉学¹, 三井久幸¹, 南澤究¹
- 1東北大・院生命科,2京産大・総合生命,3かずさ DNA 研,4東京農工大・院農
- 6 連作黒大豆根粒に内生する細菌の特性
- ○静川幸明¹,大脇良成²,田澤純子²,横山正³,吉川正巳¹
- 1京都農技セ,2農研機構中央農研,3東京農工大,

休憩 午後2時30分から午後2時45分

午後2時45分から午後4時00分 口頭発表(5題)

- 7 ミヤコグサにおける LjERNI の機能解析
- 〇矢野幸司  $^1$ ,梅原洋佐  $^2$ ,菅沼教生  $^3$ ,佐藤修正  $^4$ ,田畑哲之  $^4$ ,河内宏  $^2$ ,林誠  $^2$ ,藤原徹  $^1$ ,川口正代司  $^5$
- 1東京大・院農生命科, 2生物研, 3愛知教育大, 4かずさ DNA 研, 5基生研
- 8 MAMP 応答性のリン酸化タンパク質「RAM1」は活性酸素種生成を負に制御する 松井英譲,野村有子,ジュリアルニ,中神弘史 理化学研究所・植物プロテオミクス研究ユニット
- 9 エンドウにおけるサリチル酸を介した防御応答は褐紋病菌に対する侵入抵抗性に関与している
- 〇豊田和弘 ¹,石井寛子 ¹,山岸紀子 ²,吉川信行 ²,稲垣善茂 ¹,一瀬勇規 ¹,白石友紀 ¹ 岡山大・院環境生命科学,²岩手大・農

10 *Pseudomonas cichorii* の病原性への分化へのシデロフォア活性の関与 Wali Md Ullah¹, 田中将之¹, 水本祐之¹, 大西浩平², 木場章範¹, ○曵地康史¹ 高知大・農, ²高知大・総研セ

11 共生と防御の進化の歴史を探るための新たなモデル植物、フタバネゼニゴケ 〇中川知己<sup>1</sup>, 古崎利紀<sup>2</sup>, 榊原恵子<sup>3</sup>, 石崎公庸<sup>4</sup>, 緒方法親<sup>2</sup>, 宮本綾乃<sup>1</sup>, 石井一夫<sup>2</sup>, 嶋村正 樹<sup>3</sup>, 賀来華江<sup>1</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 渋谷直人<sup>1</sup> <sup>1</sup>明治大・農, <sup>2</sup>農工大・農学ゲノム, <sup>3</sup>広島大・院理, <sup>4</sup>京大・院生命科学

休憩 午後 4 時 00 分から午後 4 時 15 分

午後4時15分から午後5時15分総合討論1

休憩 午後5時15分から午後5時30分

午後 5 時 30 分から午後 6 時 15 分 特別講演 「モデル植物の広がり・モデル植物からの脱却~ゼニゴケの分子遺伝学」 京都大学大学院生命科学研究科 河内孝之先生

9月26日(水)

午前9時30分から午前10時45分 90秒プレゼンテーション (ポスター44題)

休憩 午前 10 時 45 分から午前 11 時 00 分

午前 11 時 00 分から午後 0 時 00 分 ポスター発表(奇数番号)

世話人会・若手の会・昼食

午後2時00分から午後3時00分 ポスター発表(偶数番号)

午後3時00分から午後3時30分 ポスター発表自由討論

休憩 午後3時30分から午後3時45分

午後3時45分から午後5時15分 総合討論2(対象:ポスター44題)

休憩 午後5時15分から午後5時30分

午後 5 時 30 分から午後 6 時 15 分 特別講演 「共生のゲノム科学:アブラムシ細胞内共生系をモデルとして」 基礎生物学研究所・生物機能解析センター 重信秀治先生

午後6時45分から懇親会

9月27日(木)

午前9時00分から午前10時15分 口頭発表 (5題)

12 ダイズ根粒シンビオソーム溶液中に静置した単生ダイズ根粒菌の窒素固定活性の発現について

小松誠史¹, 大津直子², ○横山正²

1東京農工大学農学府,2東京農工大・農学研究院

- 13 Class 1 ヘモグロビンの変異は Mesorhizobium loti の宿主植物 Lotus japonicus への感染に影響する
- ○角友博, 小薄健一, 九町健一, 阿部美紀子, 東四郎, 内海俊樹 鹿児島大・院理工
- 14 皮層細胞分裂を誘導する NIN を介した根粒着生数の負の制御機構
- ○征矢野敬1, 林誠2, 川口正代司1
- 1基生研,2生物研
- 15 新たな共通共生因子の共生体感染過程における役割
- 〇武田直也 <sup>1,2</sup>, 都築周作 <sup>2</sup>, 半田佳宏 <sup>1</sup>, Martin Parniske <sup>3</sup>, 川口正代司 <sup>1,2</sup>
- <sup>1</sup>基生研、<sup>2</sup>総研大、<sup>3</sup>LMU Munich
- 16 感染防御応答初期過程における pH 変化と細胞膜 H<sup>+</sup>-ATPase の制御
- ○伊藤紀仁 ¹, 久保田知子 ¹, 濱田晴康 ¹, 玉内亮介 ¹, 榊原佳子 ¹, 宮鍋一紘 ¹, 木下俊則 ², 朽津 和幸 ¹

1東京理科大・院理工,2名古屋大・院理

休憩 午前 10 時 15 分から午前 10 時 30 分

午前 10 時 30 分から午前 11 時 00 分 総合討論 3 (対象: 当日の口頭発表)

休憩 午前 11 時 00 分から午前 11 時 15 分

午前 11 時 15 分から午後 0 時 00 分 特別講演

「Multiple roles of nitric oxide (NO) in the Sinorhizobium meliloti-Medicago truncatula nitrogen-fixing symbiosis」

Dr. Claude Bruand (LIPM INRA, France)

休憩 午後 0 時 00 分から午後 0 時 15 分

午後 0 時 15 分から午後 0 時 45 分 総会・閉会式 第22回 植物微生物研究会交流会 ポスター発表プログラム

9月26日 90 秒プレゼンテーション 午前9時30分から午前10時45分

ポスター発表

奇数番号年前 11 時 00 分から午後 0 時 00 分偶数番号年後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分自由討論午後 3 時 00 分から午後 3 時 30 分

9月26日 ポスター総合討論 午後3時45分から午後5時15分

## 【ポスター発表 全44題】

P1 サプレッションサブトラクティブハイブリダイゼーション法による *Medicago truncatula* からの細胞外 ATP 応答性遺伝子のスクリーニング

〇田中佳織,豊田和弘,稲垣善茂,一瀬勇規,白石友紀 岡山大・院環境生命科学

P2 エンドウの感染阻害物質 dihydromaleimide の局部および全身抵抗性における役割 ○飯尾賢太郎,鎌田智絵,渡辺智和,泉実,稲垣善茂,一瀬勇規,豊田和弘,白石友紀 岡山大・院環境生命科学

P3 タバコ培養細胞 BY-2 の cryptogein 誘導性防御応答における S 型陰イオンチャネル SLAC1 の 役割

○堀越苑子<sup>1</sup>,来須孝光<sup>2</sup>,齊藤克典<sup>1</sup>,花俣繁<sup>1</sup>,祢宜淳太郎<sup>3</sup>,射場厚<sup>3</sup>,朽津和幸<sup>1,2</sup> <sup>1</sup>東京理科大・院理工,<sup>2</sup>東京理科大・総合研究機構,<sup>3</sup>九州大・理

- P4 共生窒素固定細菌 Frankia の変異体の単離
- ○栫健太郎, 山浦真稔, 阿部美紀子, 内海俊樹, 九町健一 鹿児島大・院理工
- P5 ペレニアルライグラス共生菌 *Epichloë festucae* における転写因子 ProA の機能解析 〇田中愛子 <sup>1</sup>, Sanjay Saikia<sup>2</sup>, Gemma Cartwright<sup>2</sup>, 竹本大吾 <sup>1</sup>, 柘植尚志 <sup>1</sup>, 畑信吾 <sup>1</sup>, Barry Scott<sup>2</sup> <sup>1</sup>名古屋大・生命農, <sup>2</sup>Massey Univ.
- P6 光合成 *Bradyrhizobium* と *Burkholderia kururiensis* のイネへの接種効果と組織局在性 ○福島翔平, 大久保卓, 篠田亮, 板倉学, 三井久幸, 南澤究 東北大・院生命
- P7 異なる土壌/培地で栽培したシロイヌナズナ植物体の内生細菌群集構造の比較 〇小田嶋成徳、大塚重人、磯部一夫、妹尾啓史 東京大・院農生命科
- P8 Aurantimonas 属細菌 AU20 株のポピュレーションはミヤコグサ根粒形成遺伝型に応答して変化する
- ○按田瑞恵<sup>1</sup>, 池田成志<sup>2</sup>, 江田志磨<sup>1</sup>, 三井久幸<sup>1</sup>, 南澤 究<sup>1</sup> 「東北大・院生命科, <sup>2</sup>北農研
- P9 水稲品種ヒノヒカリに対する Bacillus 属細菌株の接種効果
- ○小野愛<sup>1</sup>, 吉川正巳<sup>1</sup>, 横山正<sup>2</sup> 「京都農技セ生資セ, <sup>2</sup>東京農工大
- P10 エダウチクサネムから分離した新規 *Bradyrhizobium* 属細菌のゲノム配列 ○岡崎伸<sup>1</sup>, 大島健志朗<sup>2</sup>, 服部正平<sup>2</sup>, Neung Teaumroong<sup>3</sup> <sup>1</sup>東京農工大・農, <sup>2</sup>東大院・新領域, <sup>3</sup>Inst. Agr. Tech., Suranaree Univ. of Tech., Thailand.
- P11 ダイズ根粒菌 Bradyrhizobium elkanii USDA61 のゲノム構造解析
- 宮澤幸樹<sup>1</sup>, 飛彈英伸<sup>1</sup>, 太田公平<sup>1</sup>, 佐藤修正<sup>2</sup>, 平川英樹<sup>2</sup>, 田畑哲之<sup>2</sup>, 岡崎伸<sup>3</sup>, 佐伯和彦<sup>4</sup>, 金子貴一<sup>1</sup> 「京都産業大・工, <sup>2</sup>かずさ DNA 研, <sup>3</sup>東京農工大院・農, <sup>4</sup>奈良女子大・理

- P12 Sinorhizobium meliloti の mcpS 欠損が共生系に及ぼす影響 〇山本裕、斎藤勝晴、田渕晃 信州大・農
- P13 ダイズ根粒菌のゲニステイン誘導遺伝子の破壊と共生における役割
- 〇日高達夫<sup>1</sup>, 武島圭介<sup>1</sup>, 大西将之<sup>1</sup>, 魏敏<sup>2</sup>, 横山正<sup>3</sup>, 南沢究<sup>4</sup>, 三井久幸<sup>4</sup>, 板倉学<sup>4</sup>, 金子貴一<sup>5</sup>, 田畑哲之<sup>6</sup>, 佐伯和彦<sup>7</sup>, 大森博文<sup>8</sup>, 田島茂行<sup>9</sup>, 内海俊樹<sup>10</sup>, 阿部美紀子<sup>10</sup>, 大和田琢二<sup>1</sup> 「帯畜大・食品科学,<sup>2</sup>蘭州大・生命科学,<sup>3</sup>東京農工大・農,<sup>4</sup>東北大・院生命科,<sup>5</sup>京都産業大・工,<sup>6</sup>かずさ DNA 研,<sup>7</sup>奈良女子大・理<sup>8</sup>大阪大・院理,<sup>9</sup>香川大・農,<sup>10</sup>鹿児島大・院理工
- P14 NCR ペプチドの根粒菌と大腸菌に及ぼす影響
- 〇內奈保子 <sup>1</sup>, 內海俊樹 <sup>1</sup>, 九町健一 <sup>1</sup>, 阿部美紀子 <sup>1</sup>, 東四郎 <sup>1</sup>, Peter Mergaert <sup>2</sup>, Eva Kondorosi<sup>2</sup>, Attila Farkas<sup>3</sup> <sup>1</sup> 鹿児島大・院理工, <sup>2</sup>ISV, France, <sup>3</sup>BRC, Hungary
- P15 *Bradyrhizobium japonicum* Is-34 の *Rj<sub>4</sub>- gsn* 遺伝子の探索 ○橋元祥吾 <sup>1</sup>, 鶴丸博人 <sup>2</sup>, 山川武夫 <sup>3</sup>, 南澤究 <sup>2</sup>, 池田成志 <sup>4</sup> <sup>1</sup>九大・院生資環府, <sup>2</sup>東北大・院生命科, <sup>3</sup>九大・院農学院, <sup>4</sup>北農研
- P16 ミヤコグサ根粒菌を宿主とした人為制御可能な発現ベクターの開発と応用 〇白井理恵、中村公美、副島麻衣、岡崎伸<sup>1</sup>、佐伯和彦 奈良女子大・院理、<sup>1</sup>東京農工大学
- P17 アルファルファ根粒菌におけるイノシトール合成系の存在とその意義 ○芦田義裕,寺川あやこ,吉田健一 神戸大院・農学研究科・生命機能科学専攻
- P18 ミヤコグサと根粒菌変異株(STM 30)の共生関係における根粒老化の代謝調節  $\bigcirc$  シリナパチュンゴパスト <sup>1,4</sup>, 野村美加 <sup>1</sup>, 田島茂行 <sup>1</sup>, ナンティパックチャパナポンウォラクル <sup>2</sup>, 松浦寛幸 <sup>1</sup>, 佐藤修正 <sup>3</sup>, 下田宜司 <sup>3</sup> <sup>1</sup>香川大・農, <sup>2</sup>チェンマイ大・農, <sup>3</sup>かずさ DNA 研, <sup>4</sup>カセサート大・農
- P19 ミヤコグサ-根粒菌共生における *Mesorhizobium loti* ビタミン B6 代謝経路の新たな役割  $\bigcirc$ 富永晃好  $^{1,2}$ , 井手愛子  $^2$ , 岩本沙耶  $^3$ , 八木年晴  $^3$ , 有馬進  $^{1,2}$ , 鈴木章弘  $^{1,2}$   $^1$  鹿児島大・連農,  $^2$ 佐賀大・農,  $^3$ 高知大・農
- P20 石垣島と西表島の海浜に分布するハマアズキ(Vigna marina)と共生する根粒菌の耐塩性機構の解明
- 〇赤津哲也  $^{1}$ , 佐野直人  $^{1}$ , 金勝一樹  $^{2}$ , 石川英明  $^{1,3}$ , 大津直子  $^{2}$ , 友岡憲彦  $^{4}$ , 横山正  $^{2}$   $^{1}$ 東京農工大・農,  $^{2}$ 東京農工大・院農学研究院,  $^{3}$ JST-CREST,  $^{4}$ 農業生物資源研
- P21 光によってトマトへの菌根菌感染は制御される
- 〇永田真紀, 山本直也, 穴井豊昭, 有馬進, 鈴木章弘 佐賀大·農
- P22 5-デオキシストリゴールをリガンドとする光親和性プローブを用いた AM 菌のストリゴラクトン受容体の探索
- 〇中谷成史, 秋山康紀, 林英雄 大阪府大·院生命
- P23 Myc-LCO およびキチンオリゴ糖によるミヤコグサ共生遺伝子発現における NFR 依存性の 解析
- ○河原千春, 秋山康紀, 林英雄 大阪府大·院生命
- P24 ミヤコグサ菌根共生特異的変異株 ME2329 と ME778 の表現型と連鎖解析 ○小島知子 <sup>1</sup>, 斎藤勝晴 <sup>2</sup>, 大場広輔 <sup>3</sup>, 菅沼教生 <sup>4</sup>, 川口正代司 <sup>5</sup>, 大友量 <sup>6</sup> <sup>1</sup>農研機構・畜草研, <sup>2</sup>信州大・農, <sup>3</sup>東京大・理, <sup>4</sup>愛知教育大, <sup>5</sup> 基礎生物研, <sup>6</sup>農研機構・北農研

P25 アーバスキュラー菌根共生特異的に誘導されるミヤコグサの GARP 型転写因子 LjGGL1 遺伝子の発現解析

〇井口陽平<sup>1</sup>, 武田直也<sup>2</sup>, 川口正代司<sup>2</sup>, 上中弘典<sup>1</sup> 「鳥取大・農, <sup>2</sup>基生研

P26 ムギ類における菌根誘導型リン酸トランスポーター遺伝子の発現・性状解析 ○畑信吾,松永陽香, T. Sisaphaithong 名古屋大・生命農

P27 ダイズの菌根と黄化葉で誘導されるリン酸トランスポーター遺伝子 *GmPT7* の発現解析 ○井上雄貴¹, 小八重善裕², 馬場真里¹, 畑信吾¹¹名古屋大・院生命農学,¹東京大・院農学生命科学

P28 イネにおける菌根誘導型アシルトランスフェラーゼ遺伝子とエステラーゼ遺伝子の発現・性 状解析

○T. Sisaphaithong, 柳瀬恵, 畑信吾 名古屋大・生命農

P29 根への光照射による根粒形成阻害機構

〇下村彩 $^{1}$ , 師富千絵 $^{1}$ , 仲亜由美 $^{1}$ , 宮崎信幸 $^{1}$ , 平川英樹 $^{2}$ , 佐藤修正 $^{2}$ , 田畑哲之 $^{2}$ , 有馬進 $^{1}$ , 鈴木章弘 $^{1}$  「佐賀大・農, $^{2}$ かずさ $^{2}$ DNA 研

P30 ミヤコグサで発現する MATE 型輸送体 LjMATE2 および LjMATE3 の解析 ○太田喜寛, 高梨功次郎, 杉山暁史, 矢崎一史 京都大学・生存研

P31 ミヤコグサ根粒で発現する SWEET 輸送体の機能解析 ○齊田有桂、杉山暁史、高梨功次郎、矢崎一史 京都大・生存圏研

P32 新規のミヤコグサ根粒過剰着生変異体 *plenty* の解析 ○養老瑛美子 <sup>1,2</sup>, 吉田千枝 <sup>3</sup>, 半田佳宏 <sup>1,2</sup>, 佐伯和彦 <sup>4</sup>, 寿崎拓哉 <sup>1,2</sup>, 川口正代司 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup> 基生研, <sup>2</sup> 総研大・生命科学, <sup>3</sup> 東大・院理, <sup>4</sup> 奈良女子大・理

P33 ミヤコグサ SNARE 遺伝子 Syn1 は根粒形成初期における重要ファクターである 〇十川蒼 ¹,山崎大樹 ¹,三好貴紘 ¹,林誠 ²,横田圭祐 ²,田島茂行 ¹,野村美加 ¹ 香川大・農,²農業生物資源研

P34 マメ科植物 CCaMK の比較機能解析

○下田宜司, 林誠, 今泉 (安楽) 温子 生物研・植物共生

P35 ミヤコグサにおける根粒と菌根の RNA-seq 解析 ○半田佳宏<sup>1</sup>, 武田直也<sup>1,2</sup>, 鈴木穣<sup>3</sup>, 川口正代司<sup>1,2</sup>, 斎藤勝晴<sup>4</sup> <sup>1</sup>基生研,<sup>2</sup> 総研大・生命科学,<sup>3</sup>東大・新領域,<sup>4</sup>信州大・農

P36 硝酸還元酵素アンチセンス遺伝子を導入したミヤコグサ形質転換系統を用いた硝酸イオンによる窒素固定阻害機構の解析

〇西田帆那  $^1$ , 加藤一幾  $^2$ , 金山喜則  $^2$ , 菅沼教生  $^1$ 

1愛知教育大,2東北大・院・農

P37 根粒着生オートレギュレーションと @-1,3-glucanase 遺伝子の発現

〇小薄健一 ¹,鈴木章弘 ²,原仁俊 ¹,山下健司 ¹,高原皓史 ¹, 蘭正人 ¹,岩崎成美 ¹,浅見忠男 ³,九町健一 ¹, 東四郎 ¹,阿部美紀子 ¹,内海俊樹 ¹

1鹿児島大学・院・理工,2佐賀大学・農,3東京大学・農

P38 ミヤコグサ SEN1 遺伝子の系統間差と窒素固定活性

○原田克哉<sup>1</sup>, 富永晃好<sup>1,2</sup>, 河済英紀<sup>1</sup>, 菅沼教生<sup>3</sup>, 橋口正嗣<sup>4</sup>, 明石良<sup>4</sup>, 有馬進<sup>1</sup>, 鈴木章弘<sup>1</sup> 「佐賀大・農,<sup>2</sup>鹿児島大・連農,<sup>3</sup>愛知教育大,<sup>4</sup>宮崎大・FSRC

P39 ミヤコグサの根粒の初期発生におけるオーキシンの作用点 ○寿崎拓哉 <sup>1,2</sup>, 矢野幸司 <sup>1</sup>, 伊藤百代 <sup>1</sup>, 梅原洋佐 <sup>3</sup>, 菅沼教生 <sup>4</sup>, 川口正代司 <sup>1,2</sup> <sup>1</sup>基生研, <sup>2</sup>総研大, <sup>3</sup>生物研, <sup>4</sup>愛教大

P40 根圏微生物がダイズ根粒数を制御する機構の解明 ○中村紘之<sup>1</sup>,北原大平<sup>1</sup>,大津直子<sup>2</sup>,横山正<sup>2</sup> <sup>1</sup>東京農工大学・農学府,<sup>2</sup>東京農工大学・大学院農学研究院

P41 ダイズの生長過程における根圏微生物の解析 杉山暁史<sup>1</sup>、高瀬尚文<sup>2</sup>、關谷次郎<sup>2</sup>、矢崎一史<sup>1</sup> <sup>1</sup>京都大・生存研、<sup>2</sup>京都学園大・バイオ環境

P42 ダイズ根のフラボノイド分泌に関わるダイズ遺伝子の探索 〇山下和晃,杉山暁史,高梨功次郎,矢崎一史 京都大学・生存圏研究所

P43 ダイズ根粒の生長におよぼす温度と日周期の影響

〇石川慶祐<sup>1</sup>, 渡辺詩織<sup>1</sup>, 七夕高也<sup>2</sup>, 七夕小百合<sup>3</sup>, 石川伸二<sup>4</sup>, 大竹憲邦<sup>4</sup>, 末吉邦<sup>4</sup>, 大山 卓爾<sup>4</sup> 「新潟大院・自然研,<sup>2</sup>農業生物資源研究所,<sup>3</sup>茨城県農業総合センター,<sup>4</sup>新潟大・農

P44 <sup>15</sup>N によるダイズ根粒における固定窒素の転流の定量的解析

○Nguyen Van phi Hung<sup>1,2</sup>, 渡辺詩織<sup>1</sup>, 石川伸二<sup>1</sup>, 大竹憲邦<sup>1</sup>, 末吉邦<sup>1</sup>, 石井里美<sup>2</sup>, 藤巻秀<sup>2</sup>, 大山卓爾<sup>1</sup> 「新潟大・院自然科学, <sup>2</sup>原子力機構

P45 イネの枝分かれ抑制ホルモンおよび根寄生植物種子の発芽刺激物質としての Strigolactone アナログの構造活性相関

○井上共生<sup>1</sup>、佐々木満<sup>1</sup>、滝川浩郷<sup>1,2</sup>、水谷正治<sup>1</sup>、杉本幸裕<sup>1,2</sup>
<sup>1</sup>神戸大院・農・生命機能科学, <sup>2</sup>JST/JICA, SATREPS